

第14回

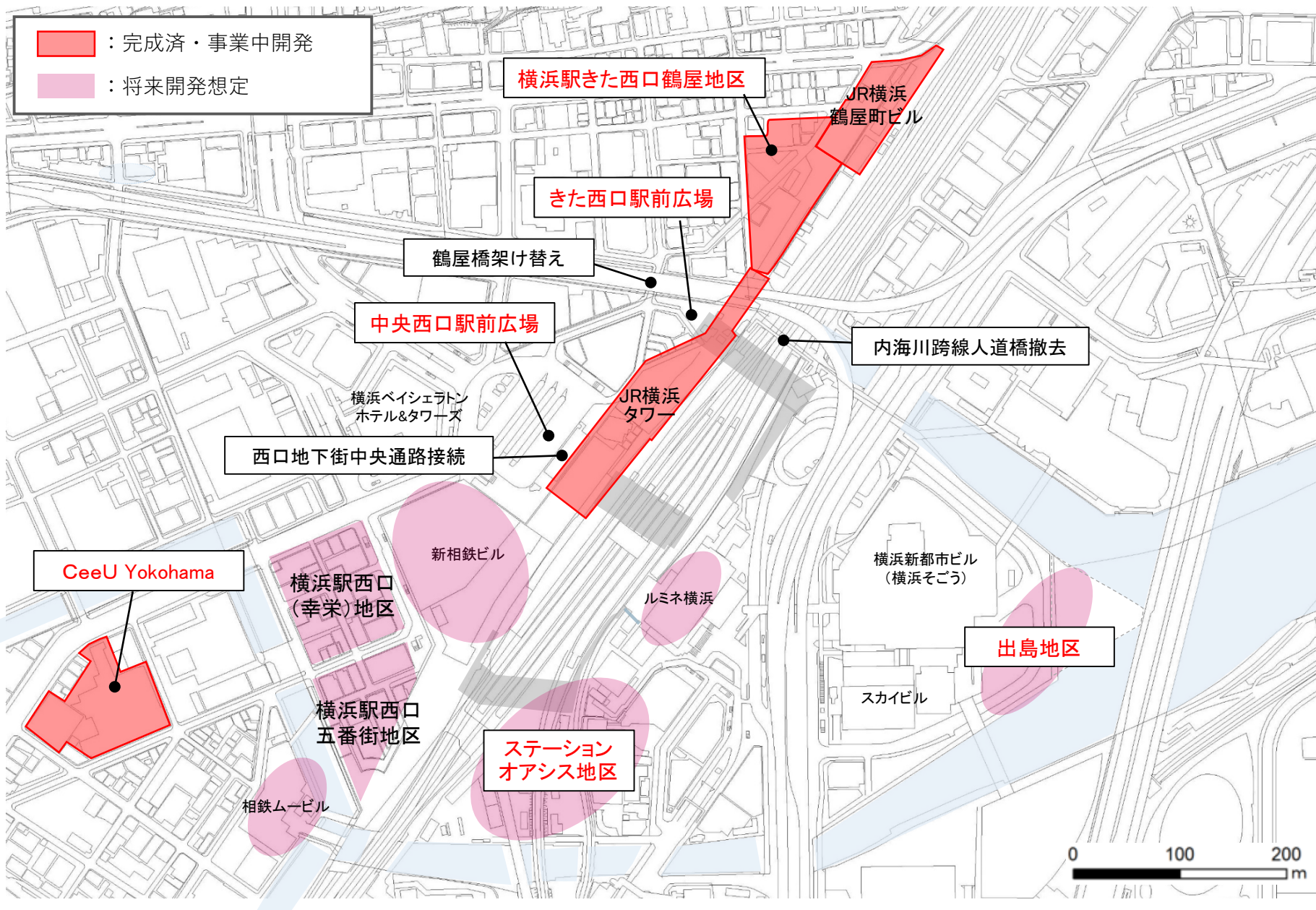
エキサイトよこはま22

懇談会

2024年7月

1	エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況 _____	3
	○ 西口周辺 _____	4
	○ 東口周辺 _____	9
	○ 治水 _____	12
	○ 親水 _____	16
	○ 防災 _____	18
	○ エリアマネジメント _____	21
	○ 周辺との連携 _____	24
2	エキサイトよこはま 2 2 の更新について _____	27

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況



1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

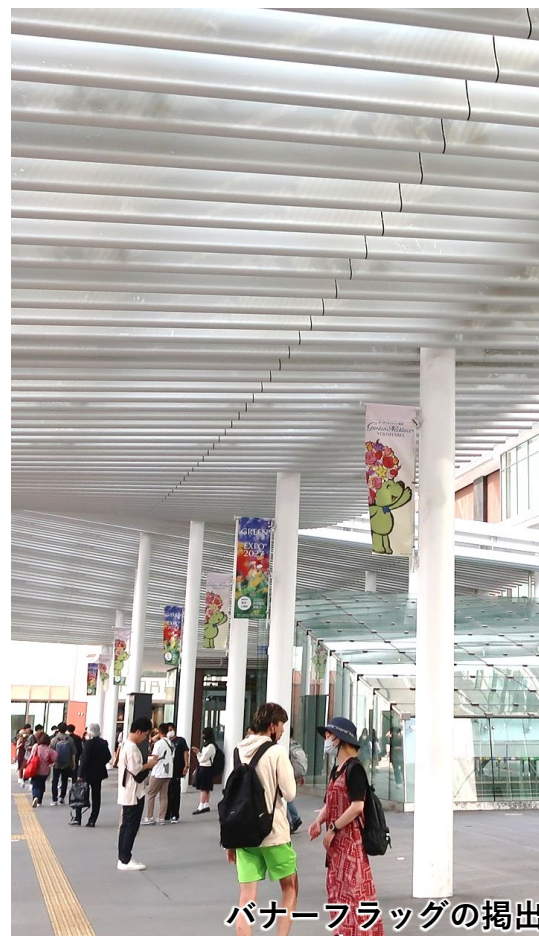
○ エリアマネジメント

○ 周辺との連携

1 エキサイトよこはま2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 < 中央西口駅前広場 >

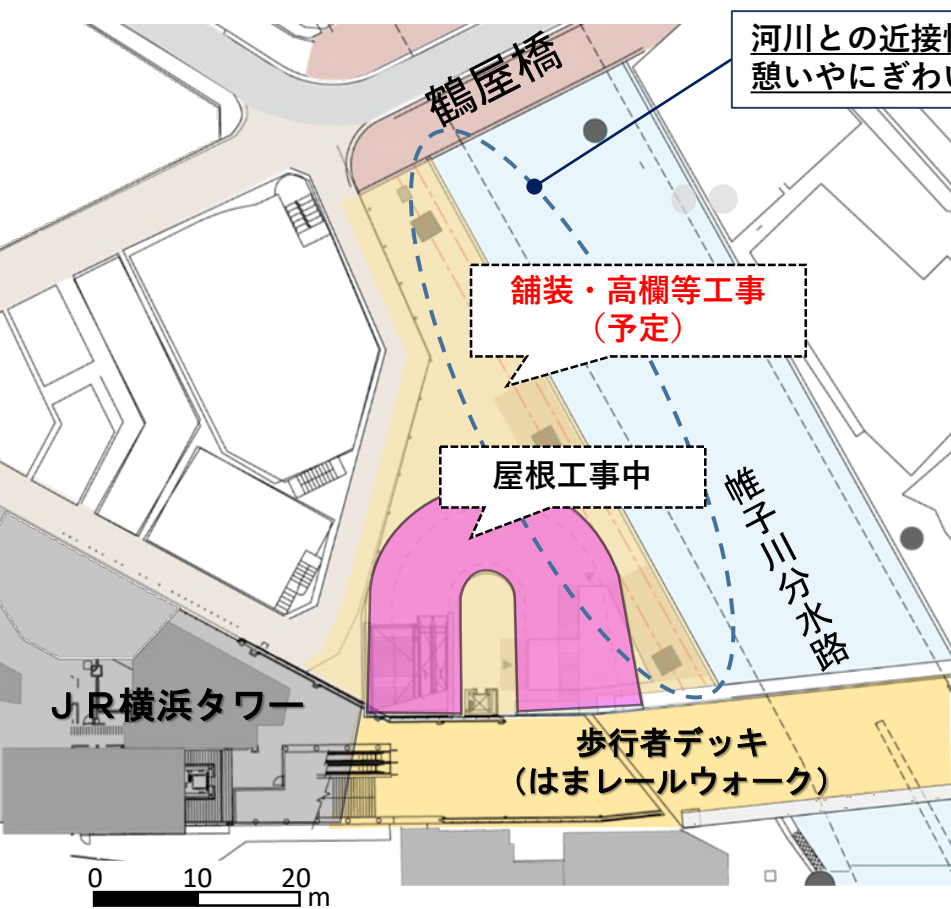
令和6年度は、舗装整備に向けて引き続き調整を進めるとともに、GREEN×EXPO 2027開催の機を捉え、横浜の玄関口にふさわしい魅力的な駅前空間となるよう整備を進めていきます。



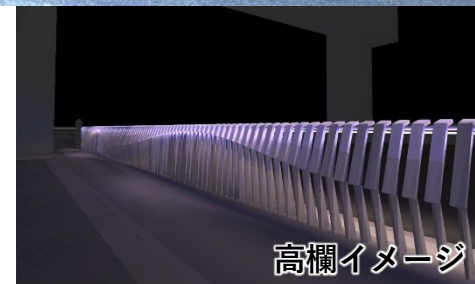
1 エキサイトよこはま2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 <きた西口駅前広場>

令和6年8月の完成を目指し屋根工事を進めています。
今後は、関係者協議等を行いながら、広場の舗装や高欄等の整備を進めていきます。



河川との近接性を活かした、
憩いやにぎわいの空間づくり



※整備内容については、関係者との協議により、一部変更する可能性があります。 6

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 <横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業> 「THE YOKOHAMA FRONT / ザ ヨコハマ フロント」

令和6年3月に再開発建物が竣工し、6月20日に「ザ ヨコハマ フロント」がグランドオープンを迎えました。引き続き、タクシー乗場の分散配置に向け、交通広場の工事を進めていきます。（事業完了は令和7年度予定）

<<施設概要>>

全国初「国家戦略住宅整備事業」

グローバル企業の就業者が暮らしやすい居住環境の整備

42F / Vlag yokohama

事業共創をテーマとした交流の場創出
■面積 / 約350坪

5・13～41F / レジデンス

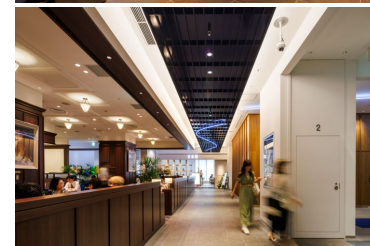
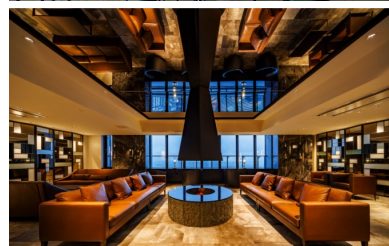
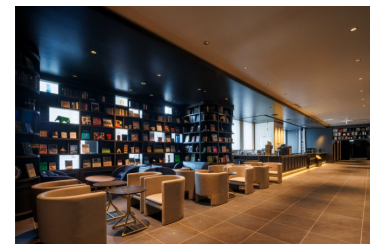
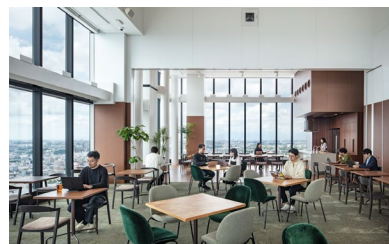
多様な居住ニーズに応じた滞在空間の提供
■戸数 / 459戸 ■1戸あたり平均約19坪

4F / ロビー、6～10F / ホテル 11～12F / サービスアパートメント

グローバルレジデントの
短・中期滞在に応える宿泊機能
■部屋数 / 221室

1～4F / 商業

グローバルプレイヤーが安心して
快適に暮らせる生活支援・便利施設
3階には多言語対応クリニックモール
■面積 / 約1,470坪



THE
YOKOHAMA
FRONT

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

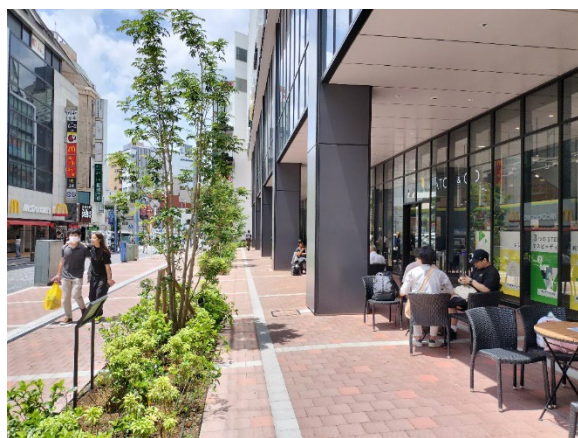
○ 西口周辺 <ダイエー跡地 建替え>

「CeeU Yokohama／横浜ヴェールタワー」

CeeU Yokohamaは、令和5年12月にグランドオープンを迎え、整備された空地により歩行者空間の拡充や新たな賑わいの創出等に寄与しています。

住宅棟（横浜ヴェールタワー）は、建築工事を進めており、7年春竣工を予定しています。

にぎわい空間の創出



歩行者空間の拡充



放置自転車の改善



1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

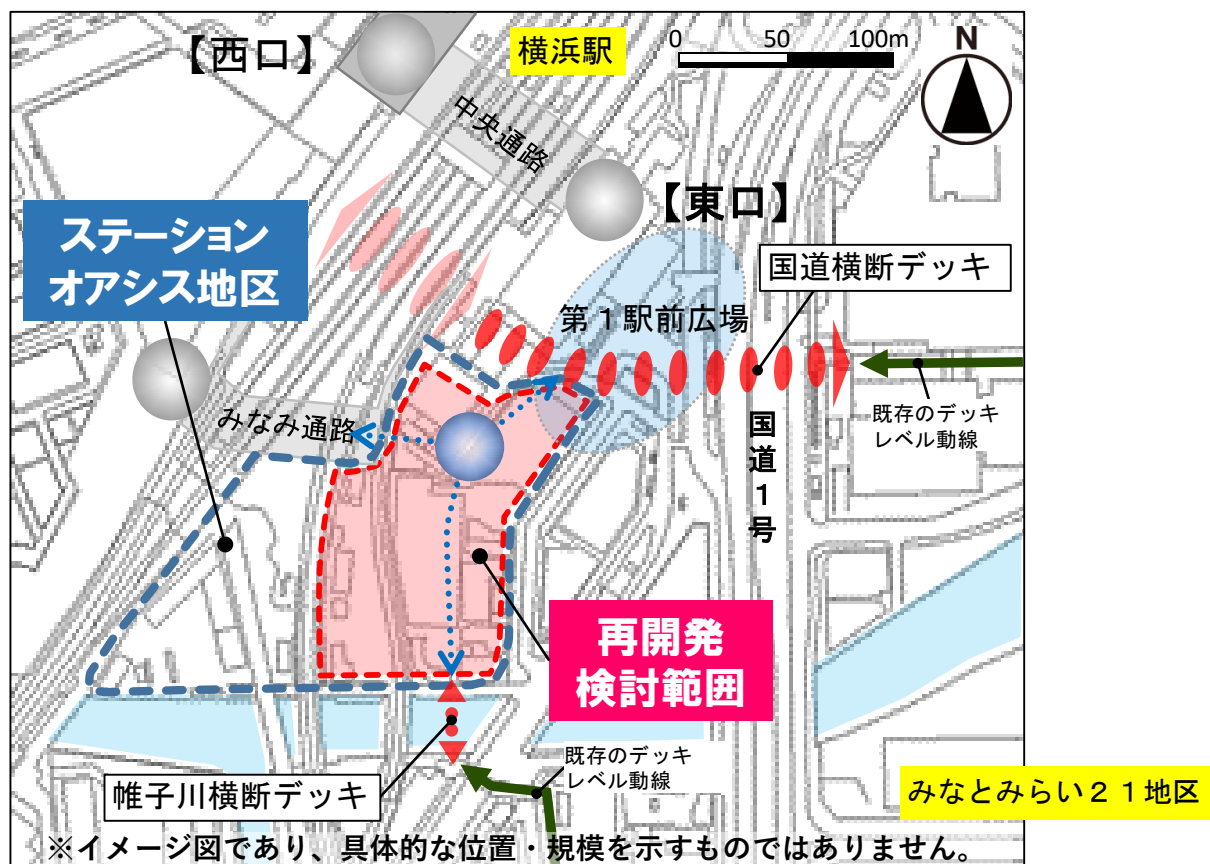
○ 周辺との連携

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 東口周辺 <ステーションオアシス地区開発>

再開発事業の事業化に向けてさらなる検討を進めていくため、令和6年6月に日本郵政不動産(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)を事業協力者として、再開発準備組合が設立されました。

今後、準備組合において事業計画の検討を進め、早期事業化を目指します。

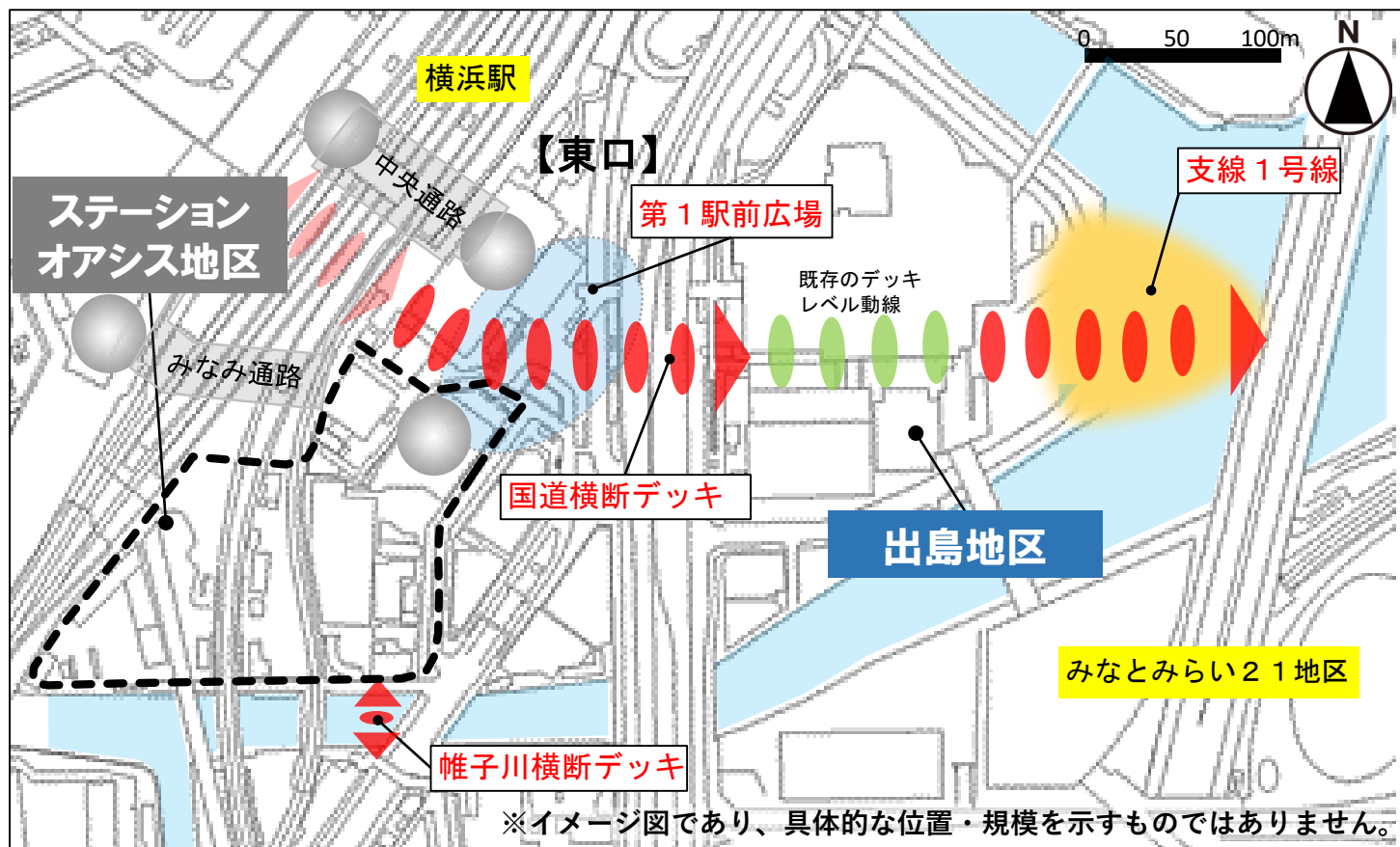


1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 東口周辺 < 出島地区・基盤整備 >

令和6年7月に東口臨海地区連絡協議会（通称：出島協議会）を再開し、中長期的な視点で出島地区の将来像の検討を進めています。

ステーションオアシス地区や出島地区の動きを契機に、東口の基盤整備として、第1駅前広場や国道横断デッキ、支線1号線等の整備の検討を進めていきます。



1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

○ 周辺との連携

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 治水 <全体スケジュール>

帷子川の河口部拡幅・河床掘削など外水対策を進めるとともに、下水道雨水幹線整備や雨水貯留施設の整備等による内水対策により、官民連携で横浜駅周辺の総合的な治水安全度の向上を目指しています。

		これまで	今後	将来 ^(※2)
外水対策	河川	基本方針、整備計画の策定 	まちづくりに合わせた 鉄道・道路橋梁架け替え 河床掘削 河口部拡幅 	
	安全度 ^(※1)	20年確率 概ね65mm/hr	50年確率 概ね82mm/hr	100年確率 概ね93mm/hr
内水対策	下水道	内水対策計画の策定 	雨水幹線・ポンプ場・雨水排水施設（面整備管）の整備 	
	雨水貯留	ルール確立 J R 横浜タワー 	開発に合わせた敷地内貯留 	
	まちづくり		開発に合わせた地盤の嵩上げ 	
	安全度	10年確率 60mm/hr	30年確率 74mm/hr	50年確率 82mm/hr

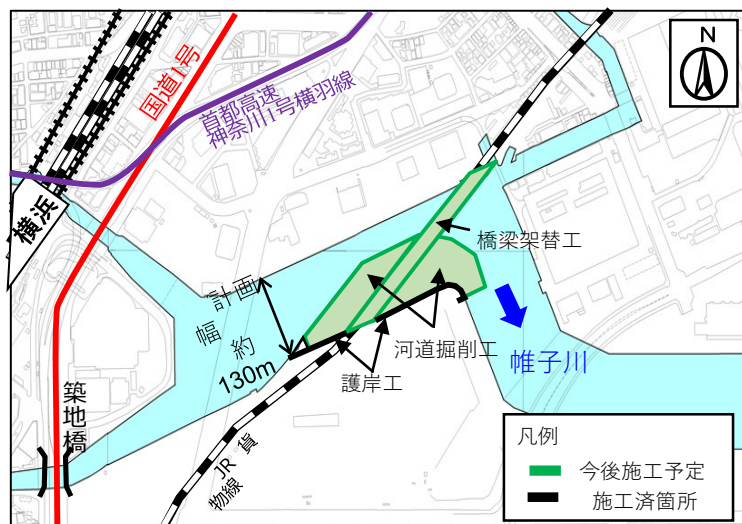
※1 河川の治水安全度は、横浜駅周辺（西口）における流下能力を示す。

※2 気候変動（海面上昇・ゲリラ豪雨）への対応を検討

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

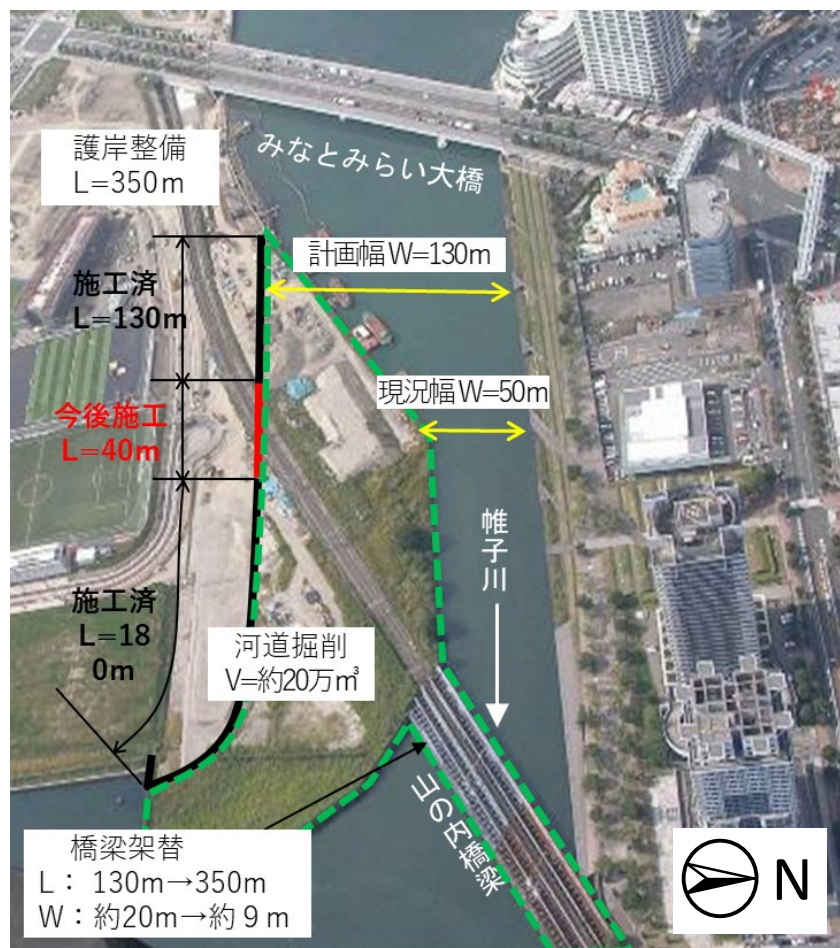
○ 治水 <外水対策（河川）>

帷子川河口部の拡幅に伴うJR山の内橋梁の架替えに向けて、鉄道事業者等と協議・検討を進めています。



【事業効果】

河口部の拡幅により、横浜駅周辺においても水位低下が見込まれ、浸水リスクが軽減されます。

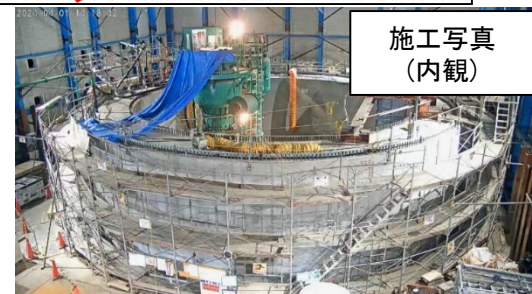
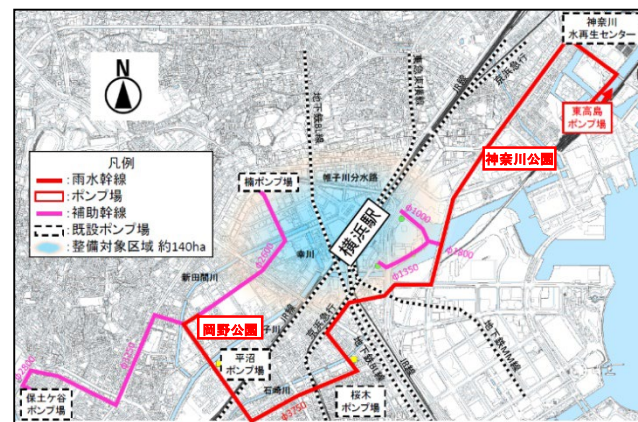
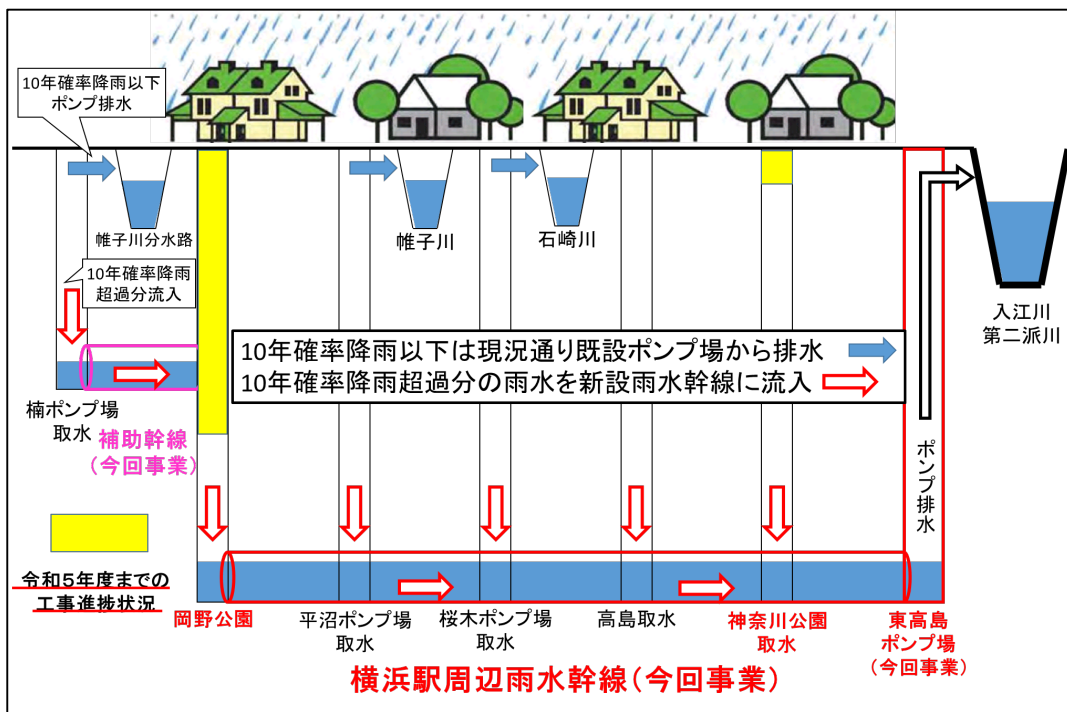


1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 治水 < 内水対策 >

令和5年度は、岡野公園グラウンド内にて雨水幹線整備のための立坑築造工事を進め、新たに神奈川公園内でも立坑築造工事に着手しました。

令和6年度は、引き続き立坑築造工事を推進するとともに、対象区域内の雨を雨水幹線に取り込むために必要な、雨水排水施設（面整備管）の整備に着手します。



事業スケジュール	雨水幹線の諸元	補助幹線の諸元	雨水ポンプ場の諸元
令和2年度 立坑工事着手 令和12年度 供用開始予定	内径：φ3750mm 延長：約4.9km	内径：φ700～3250mm 延長：約3.2km	規模：幅30m×長50m×深60m 能力：約6.0m ³ /s

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

○ 周辺との連携

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 親水 <水辺空間活用>

令和5年度は、地域の皆様と水辺空間の活用方法を検討するワークショップを新たに開始しました。

また、水難救助訓練を（一社）横浜西口エリアマネジメントと4年ぶりに共同開催しました。

仮設浮棧橋での取組周知やカヤック体験、清掃活動、河川の環境調査等、水辺空間の利用促進に引き続き取り組みます。

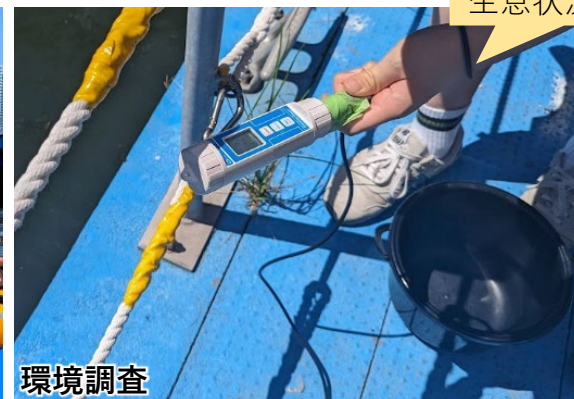
横浜市、戸部警察署、西消防署、横浜駅西口周辺事業者等、約100名が参加



透視度や生物の生息状況を確認



(令和5年度 棧橋利用実績)
計19回実施 105名が参加



1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

○ 周辺との連携

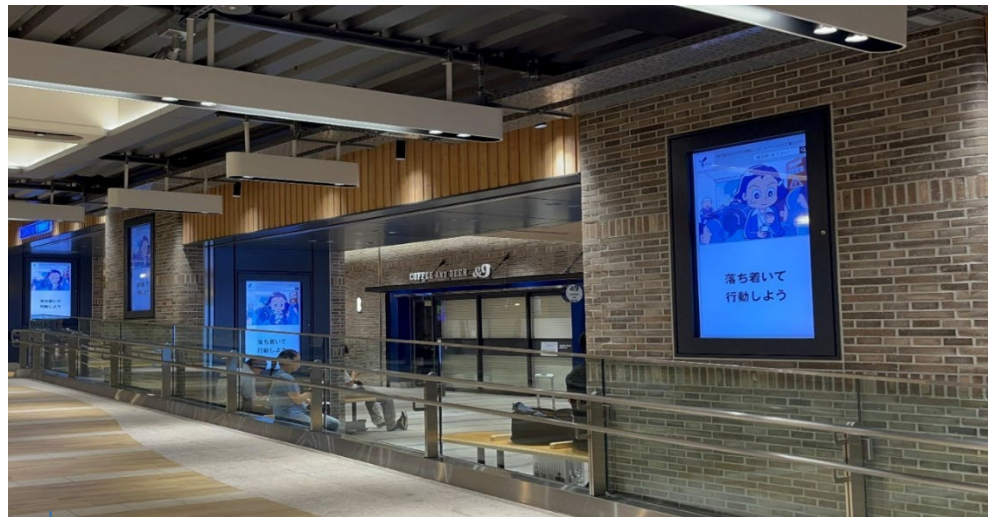
1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 防災 <デジタルサイネージの活用>

令和5年7月より関係事業者と協働で開始したデジタルサイネージによる災害時の情報発信については、13事業者154箇所へ拡大しています。

(運用開始時：9事業者142箇所)

また、過去の大規模災害発生日の節目には、防災啓発動画の放映により防災意識の啓発に取り組んでいます。



平時の防災啓発動画放映状況（令和5年9月1日 左：横浜駅南部高架下，右：横浜ポルタ）

発災時の情報発信イメージ

啓発のため大規模災害発生日
(1/17, 3/11, 9/1) に動画を放映

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 防災 <都市再生安全確保計画の改定>

発災時に横浜駅周辺の滞在者の安全確保を図るため、平成25年度に作成した「横浜駅周辺地区 都市再生安全確保計画」を令和6年2月に改定しました。

鉄道事業者や周辺事業者と協働した情報伝達体制の確立等、引き続き、滞留者・帰宅困難者の抑制及び支援に取り組みます。

計画改定の概要

- ・ 横浜駅周辺地区の基礎データや開発状況を踏まえた更新
- ・ 感染症等の発生を見据えた対策や災害等への対応
- ・ デジタル技術を活用した情報発信等の取組みを反映 等



震災想定訓練の様子（令和5年11月20日）

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

○ 周辺との連携

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ エリアマネジメント

令和5年度も、エリアの魅力向上に向け、公共空間を活用したイベント等を実施し、賑わいの創出、来街者促進に取り組みました。

《令和5年度活動事例》

▼ 公開空地・道路等を活用した地域の魅力づくり



▼ 居心地のよい環境づくり



▼ 周辺と連携した、にぎわい創出



1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

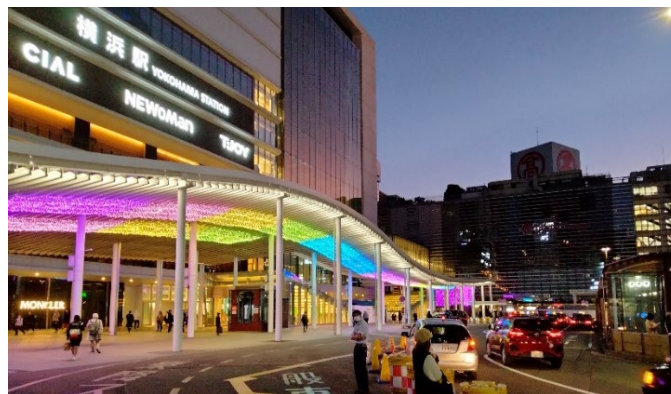
○エリアマネジメント＜都市再生推進法人＞

（一社）横浜西口エリアマネジメントが、令和6年3月に都市再生推進法人※に指定されました（県内初）。

これにより、まちづくりの担い手として、公共空間等のにぎわい創出に向けた計画提案や様々な活動ができるようになりました。

今後、地域・行政との連携による様々な社会実証実験を行い、まちの新たな価値創出と魅力向上を目指します。

《公共空間活用イメージ》 ※写真は過去の実施事例です。



▲ イルミネーション



▲ 西口中央広場活用 実証実験



▲ パルナード通り公共空間利用実証実験

※都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりの中核を担う法人

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地 建替 (CeeU Yokohama / 横浜ヴェールタワー)

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 出島地区・基盤整備

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

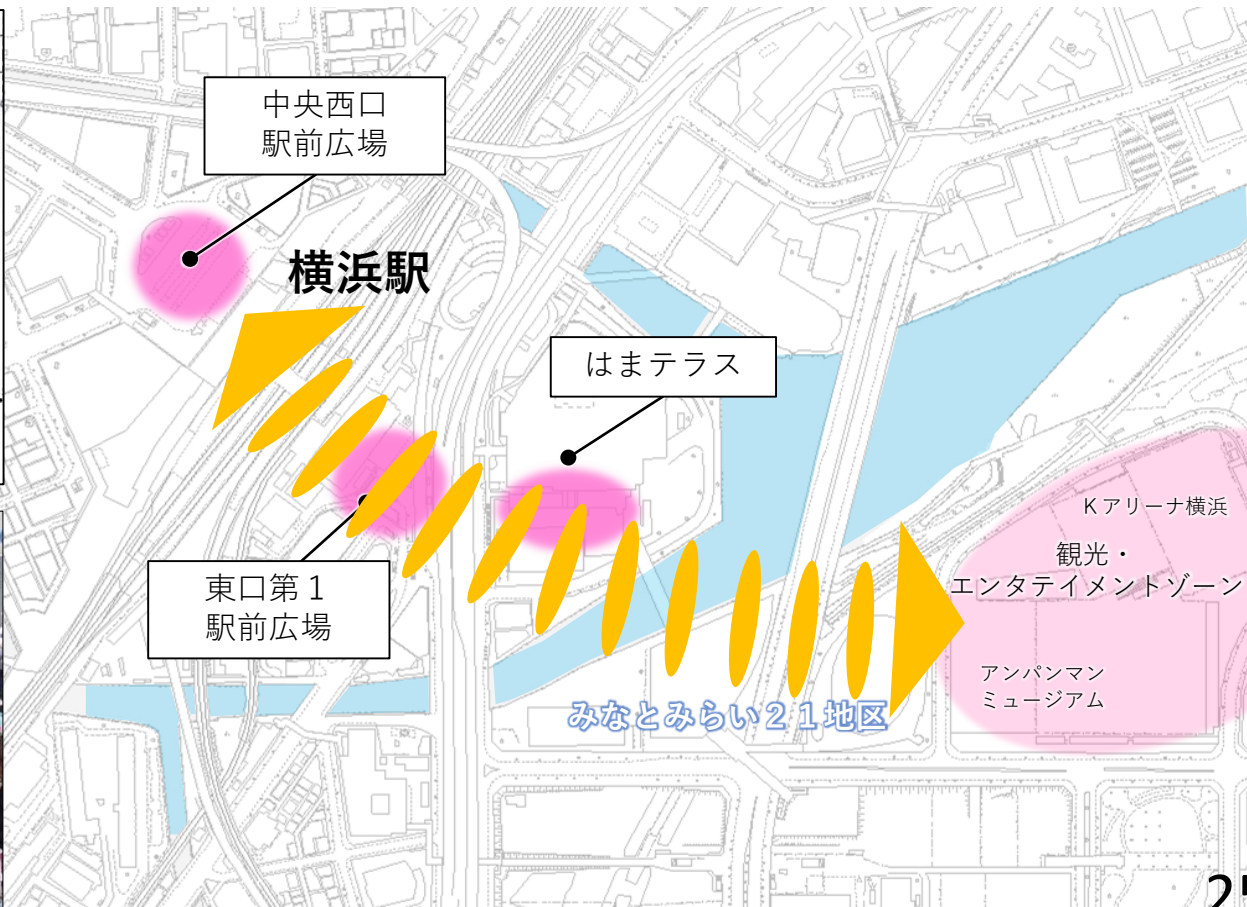
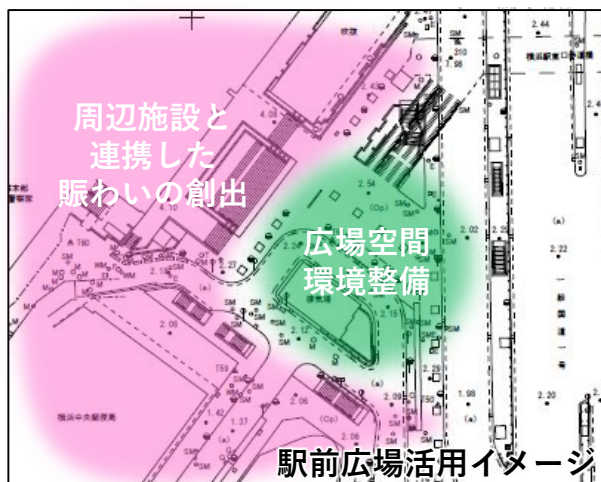
○ 周辺との連携

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 周辺との連携 < 都心臨海部 >

みなとみらい2.1地区が概成を迎え、Kアリーナ横浜が開業する等、横浜駅からみなとみらい2.1地区に向かう人が増加しています。

玄関口として、案内サインの設置等短期的な取組も含め、横浜駅と都心臨海部を結ぶ、分かりやすく歩いて楽しい空間づくりを進めていきます。



1 エキサイトよこはま22各取組・工事等の進捗状況

○ 周辺との連携 <GREEN×EXPO 2027>

令和6年6月には、GREEN×EXPO 2027の開催1000日前を契機とした機運醸成のため、西口中央広場や周辺施設にバナーフラッグや横断幕、ポスター等を掲出しました。

2027年（令和9年）3月の開幕に向け、節目を捉えて、横浜の玄関口として、積極的なPRに取り組んでいきます。



GREEN×EXPO 2027の概要

テーマ：幸せを創る明日の風景

名称 2027年国際園芸博覧会

開催場所 横浜・上瀬谷

開催期間 2027年3月19日～9月26日

博覧会区域 約100ha（内、会場区域80ha）

クラス A1（最上位クラス）



公式マスコットキャラクター
「トウクトウク」

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 計画更新の必要性

【エキサイトよこはま22の構成（平成21年策定）】

まちづくりビジョン

「まちの将来像」とその実現に向けた戦略及び進め方を示したもの

基盤整備の基本方針

「まちの将来像」の実現に向けて重要となる基盤施設の整備を進めていくための基本方針を示したもの

まちづくりガイドライン

官民連携で地区の魅力向上を図るため再開発等を行う際のルールを示したもの

【これまでの主な取組】

(計画関係)

- ・まちづくりガイドライン 改定
- ・インフラ基本計画 策定
- ・都市再生安全確保計画 策定・改定

(基盤整備)

- ・鶴屋橋架け替え
- ・西口地下街と中央通路接続（馬の背解消）
- ・西口駅前広場大屋根整備（工事中）
- ・下水道雨水幹線整備（工事中）

(民間開発)

- ・JR横浜タワー
- ・きた西口鶴屋地区市街地再開発（事業中）

(関連する取組)

- ・エリアマネジメント活動の推進
- ・防災の取組

【社会環境や周辺環境の変化】

神奈川東部方面線開通

GREEN×EXPO2027

中央リニア新幹線

公共空間活用
まちなかウォークアブル

みなとみらい21地区
の開発進捗

新たな生活様式

Zero Carbon
Yokohama

激甚化する災害

都市間アクセスの強化

都市のDX化

建物の老朽化

新たな交通モード

計画策定後約15年が経過し、
社会環境の変化などへの対応が必要

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 計画更新の進め方

脱炭素やウォークラブルなどの社会環境やみなとみらい21地区の概成などの周辺環境、時代ニーズの変化への対応を踏まえつつ、

- ① 駅を中心としたまちの「再編方針」と「将来像の可視化」
(=グランドデザイン)
- ② 開発を促進するための対応策（規制緩和等）

について、関係者と意見交換し、計画更新を進めます。

H21策定

現在

計画更新

まちづくりビジョン

基盤整備の基本方針

まちづくりガイドライン

社会環境や周辺環境、時代ニーズの変化への対応
(環境・防災等)

① グランドデザイン

駅を中心としたまちの「再編方針」
と「将来像の可視化」

② 開発促進策

(規制緩和等)

まちづくりビジョン

基盤整備の基本方針

まちづくりガイドライン

関係者との意見交換

短・中期の取組の強化
(将来開発の機運醸成等)

- 都心臨海部の玄関口としての駅前広場整備など
- 都市再生推進法人などによるエリアマネジメント活動

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 計画更新に向けた検討状況

【東口】

● 駅前空間のコンセプト

オープンスカイターミナル

Open Sky Terminal

都心臨海部の玄関口にふさわしい、
魅力と活力が生まれ、“発信・発進”する拠点

● 駅を中心としたまちの再編方針【グランドデザイン骨子】

方針1.

まちへ誘う、ゆとりのある駅前空間の創出

- ゆとりがある、回遊の拠点となる2つの広場の整備
- 親水性を生かした、滞在空間の創出

方針2.

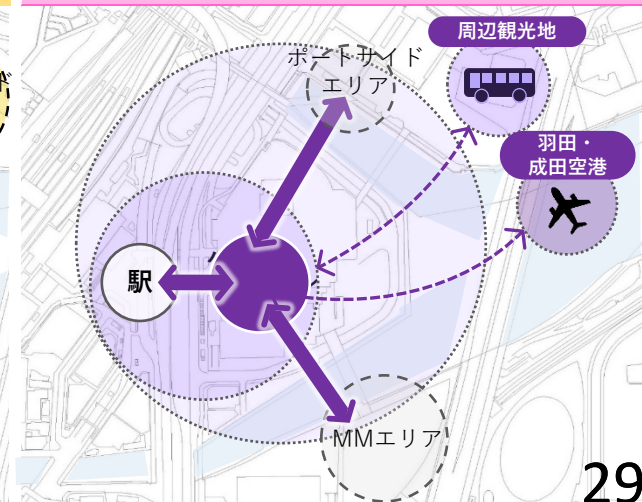
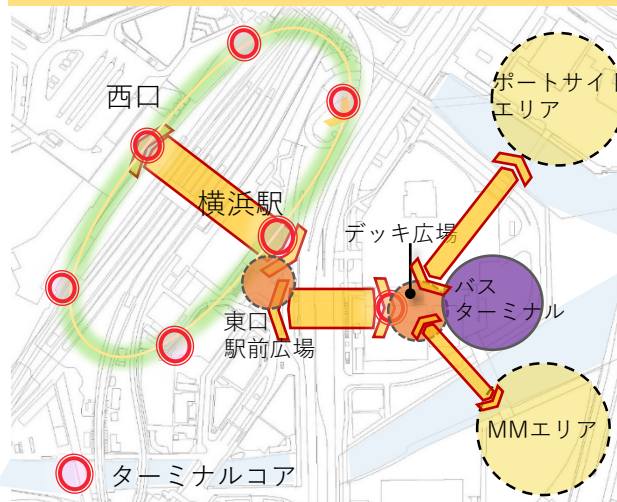
横浜駅から周辺エリアへとスムーズにつながる歩行者ネットワーク形成

- 横浜駅からみなとみらいエリア等へつなぐ多層的な歩行者動線の形成
- 円滑な歩行者動線を形成する、象徴的なターミナルコアの整備

方針3.

大規模バスターミナルを中心とした広域交通結節機能の強化

- 羽田・成田空港や都市間をつなぐ広域交通結節点の強化
- 駅・周辺地区とバスターミナルのアクセス強化



2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 計画更新に向けた検討状況

【西口】

● 駅前空間のコンセプト

ヒューマンエナジーコア

HUMAN ENERGY CORE

人が集いまちの回遊の拠点となる「ひとにやさしい空間」を作る

● 駅を中心としたまちの再編方針【グランドデザイン骨子】

方針1.

多様な賑わいが生まれる、
人中心の駅前広場の創出

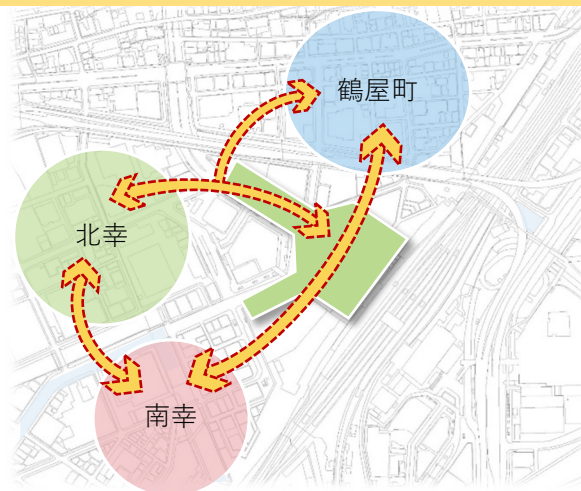
- 誰もが自由にアクセスでき、憩いたくなる居心地の良い空間の形成
- 多様な人々の交流を生み出す、活力ある空間の形成



方針2.

まちの回遊が生まれる魅力的な
歩行者ネットワークの創出

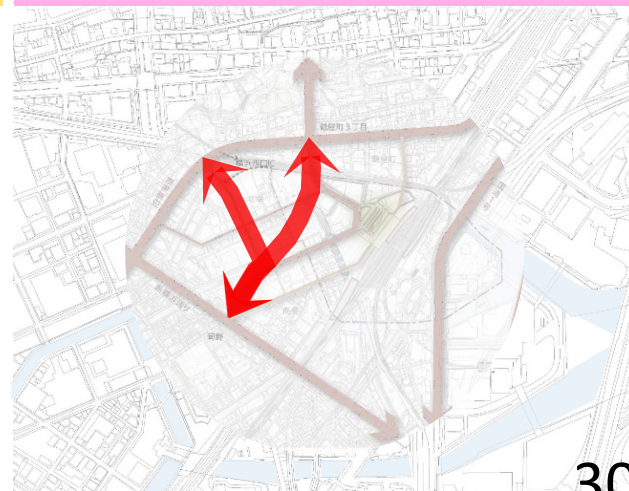
- 水辺等の特徴を生かし、駅前の活力を周辺に波及させる歩きたくなる空間の形成
- 建物の低層部やオープンスペースのにぎわいが感じられる通りの充実



方針3.

快適で使いやすい交通の再編

- 利用しやすい公共交通の配置
- 周辺道路への交通転換による駅前の通過交通の抑制
- 駐車場や荷捌き車両の適正化



2 エキサイトよこはま22の更新について

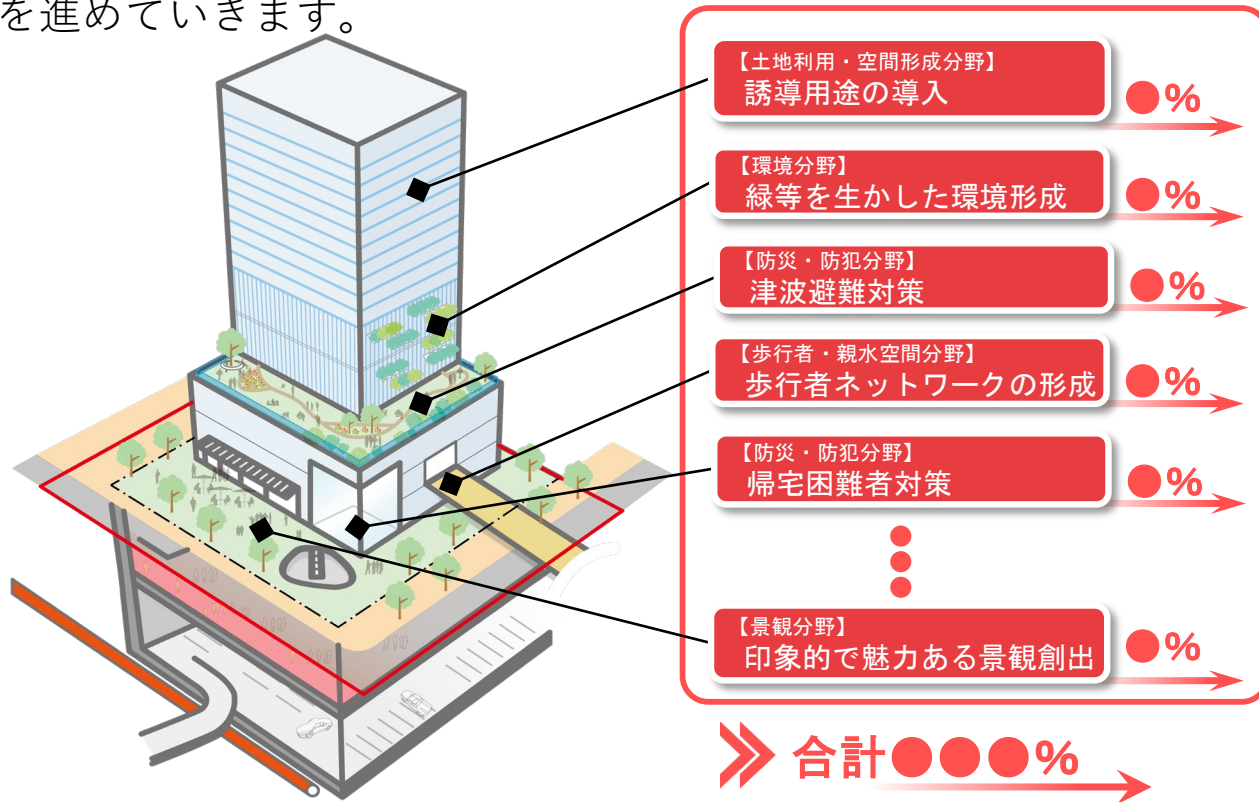
○ 計画更新に向けた検討状況

● 開発促進策(規制緩和策)

公共貢献内容を明確化し、エキサイトよこはま22の実現に資する取組（インフラ整備等）等に対して、交通基盤や地域特性に応じた、大胆な規制緩和を検討していきます。

【公共貢献と容積緩和のイメージ】

※具体的な公共貢献と規制緩和の内容は、今後、関係者の皆様と議論をしながら、検討を進めていきます。



■ エキサイトよこはま22の実現に向けて

エキサイトよこはま22の推進に向けて、本日提示した「駅を中心としたまちの再編方針」をもとに、関係者の皆様と横浜駅周辺の将来像について議論を開始させていただきます。なお、将来像の実現に向けては、地下街の改修や駐車場配置の適正化など、幅広く可能性の検討を進めます。

この議論により、皆様と横浜駅周辺のまちの将来像を改めて共有することで、国際都市よこはまの玄関口としてふさわしいまちの実現を目指します。

